

Enigma FirePlusとシグナスX(4型)の接続方法 ブルートゥース版

取り付け作業は安全な場所で正しく行って下さい。基本的なシグナスX(4型)の整備知識が必要です。サービスマニュアルに従ってECUと配線が作業できるようにシートやカウルなどを取り外して下さい。ノーマル車両のシートを取り外すとシート下右側にECUがゴムで取り付けられています。

ECUに繋がっている33ピンカプラーを外し、配線を加工してEnigma FirePlusを割り込みさせて下さい。Enigma FirePlusは近くに水に濡れないよう取り付けして下さい。配線加工後ECUを取り付けて下さい。

4型(リアディスクブレーキタイプ)用Enigma FirePlusは2型/3型CYGNUS-Xには使用できません。

カプラー側の配線にEnigma FirePlus配線を点火線、インジェクター線及び、O2センサー線を除き**割り込み接続**します。(割り込み接続とはノーマルの配線を切断せずに分岐する様に接続する事です)

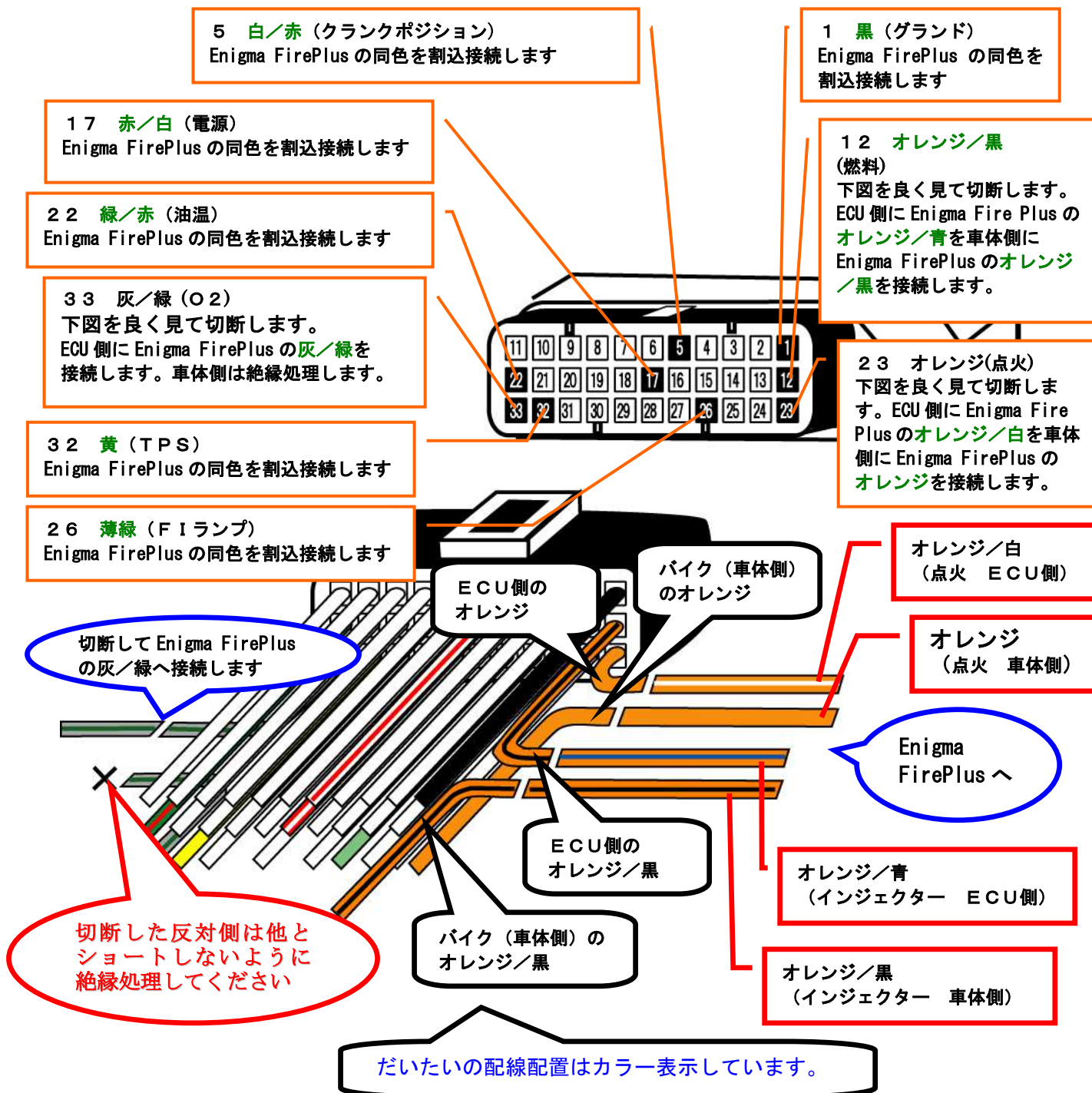
割り込み配線接続はエレクトロタップやギボシを使用しないで下さい。接続トラブルが多く

Enigma FirePlusの動作に問題が起きます。信頼性向上のため直接ハンダ付けする事をお勧めします。

RTFタイプをお使いの方は、下記の配線作業は必要ありませんので、ECUに繋がっているカプラーを外し、Enigma FirePlus RTFから出ているカプラーをECUと車体側に接続して下さい。「カチッ」とロック音がすることを確認して下さい。

- 基本的にEnigma FirePlusから出ている配線色と接続する車両の配線色は同じか、もしくは近い色になっています。下記の図を良く見て正しく接続して下さい。
Enigma FirePlusから接続する配線は全部で11本です。
ムラサキ線はサービス出力線なのでECUには繋ぎません。使用しないときは絶縁・防水処理をしてください。
- ※ ECUの12番端子(オレンジ/黒)へ接続されている線を切断して、Enigma FirePlusからの配線で、バイク車体側にオレンジ/黒線を接続、ECU側にオレンジ/青線を接続して下さい。接続には極性がありますので下図で良く確かめて間違いの無い様に接続して下さい。
- ※ ECUの23番端子(オレンジ)へ接続されている線を切断して、Enigma FirePlusからの配線で、バイク車体側にオレンジ線を接続、ECU側にオレンジ/白線を接続して下さい。接続には極性がありますので下図で良く確かめて間違いの無い様に接続して下さい。
- ※ O2センサーへ接続するECU15番端子(灰/緑)線は、切断してECU側とEnigma FirePlusを接続して下さい。
切断した車体側は他の線やフレームとショートしないよう絶縁処理して下さい。
- ※ **本体に直接水がかからないようにして下さい。また配線の根元からの水の入るのを防止するため、配線側を下にして設置して下さい。**

● 下図を良く見て配線位置など間違わないように作業してください。



■ ECU端子で繋ぐのは1、5、12、17、22、23、26、32、33の9箇所です。上図で良くご確認ください

■ ムラサキ線はサービス出力線です。Enigma FirePlusはクランク1回転に1回、5Vを出力します。市販の殆どのデジタルタコメーターなどに対応します。この線に繋がれば正確な値が表示される等色々な事に応用出来ます。必要が無い時はテーピングしてショートしないようにして下さい。

■ 配線接続が終わってもリミッターは解除されていません。パソコンもしくはスマホでEnigma FirePlus操作ソフトと通信すると簡単に設定が出来て解除出来ます。

■ PC用Enigma FirePlus専用ソフトは下記当社ホームページより無料でダウンロードできます。iOS用アプリ、Androidアプリは下記当社ホームページから販売サイトへのリンクがあります。

<http://www.dilts-japan.com>

※CYGNUS-X(4型) Enigma FirePlus専用ソフト(アプリ)をお使いください。他のバイク専用(CYGNUS-X 2型/3型用)のFirePlusソフト(アプリ)や点火機能の無いENIGMA専用のソフト(アプリ)は接続できません。

FirePlus専用のソフト(アプリ)にはEASYモードとPROモードの2種類あります。PROモードは点火マップが自分で作成できないと、エンジンがかからなかったり、回転が上がらなかったり、最悪エンジンを壊してしまうことがあります。FirePlusが初めての方はノーマルECUの点火時期を進角/遅角できる、EASYモードをお使いください。

ECU のカプラーの取り外しに関して

ECUのコネクターには年式により「抜け防止バンド」が付いています。
これはカプラーの爪を押しても引き抜けなくするものです。
ECUからカプラーを取り外す場合には、先ずこのバンドを取り外してください
(バンド単体写真参照)

バンドを取り外した後に爪を押して引き抜くとカプラーがECUから抜けますので
Enigma FirePlusのカプラーを差し込みます。

「カチッ」とロックが掛かればOKです。その後取り外したバンドを取り付けます。

※抜け防止バンドを外さずにカプラーを引く抜くのは絶対におやめ下さい。

